

平成十九年度立正大学入学式 式辞

学長 高村弘毅

桜花爛漫の本日、ここに、立正大学学園総裁・日蓮宗管長・酒井日慈猊下、並びに熊谷市・富岡清市長、熊谷商工会議所・松本光弘会頭を始め、多くのご来賓、ご父母の方々、大学関係者ご臨席のもと、平成十九年度入学式を挙行出来ますことは学長としてこの上ない慶事に感じます。衷心より御礼申し上げます。

そして、新入生の皆さん、ご入学、まことにおめでとうございませす。心からお祝い申し上げます。

さてみなさん、立正大学は 私立大学の競争的特化指向の環境下に鑑み、新ブランデングビジョンを定めましたので ここでご紹介いたします。

わが国の私立大学で最も古い淵源を有しております立正大学はいま、現代社会に呼応した新たなアイデンティティの創出に励んでおります。その中核をなすものは、「真実・正義を追究し、和平を願い、人類に尽くそう」という建学の精神を規範とした人づくりの理念であります。それは、すなわち、ケアロジー（ケア学）を基軸とした「モラリスト×エキスパートを育む」をブランドビジョンとしていることです。これは、他人の悲しみ・喜び

を共有できる豊かな感性を備えたエキスパートを育成することを目指したものであります。この意味に示されておりますように立正大学を構成する一員として、在校生や教職員とともにわが大学の発展に参加し、貢献して下さいる同志（タバリシユウ）として 諸君を衷心より歓迎いたします。

また、不安定な社会情勢の中で大事に育てられたご令息・ご令嬢をわが立正大学に進学させて下さいましたご家族の方々に深くお礼申し上げますと共に、これを機に立正大学の強力な支援者となつて頂ければ幸いです。

立正大学の建学の精神は、仏教精神の普遍性に裏づけられた人の根本理念であります。それは乱世ともいふべき今日の世界に最も要求される人類共通の規範理念でもあります。このことからしてもこの理念は、本学の教職員はもとより、学生にとって在学中はもちろん、生涯の基軸として頂きたいものです。社会に大きな隙間が生じた今日こそ、この精神を規範として自己存在の確立のための絶好の機会と捉え、行動することを期待しております。

立正大学は、創設以来百三十五年の星霜の間で人間、社会、地球などの領域にわたり学問を深く追究し、未来の糧となる伝統を

築いてまいりました。しかし、これからは、単なる歴史の積み重ねだけでは名誉ある伝統の継続は保証されず、ビジョンにまで繋げられる財産とはなり得ません。そこで、ブランドビジョンの開発と展開が必要であり、これこそが、わが大学の真の意味の伝統の累積となる sustainable（持続可能）な施策であると確信するものであります。

更に諸君に考えていただきたいのは、人間が絶対に自分で選ぶことが出来ないものが沢山ありますが、その中でも、自分の生まれる国、場所、日時は、人生を左右する最も重要な事柄の一つであるということであります。月面にアポロ一号が人類を送ってからはや三十八年の歳月が経過しているというのに、地球上ではないところ未だに戦火による殺りくが絶えておりません。戦火で明日の命が保証されない国々で生まれた子供達を思うとき、運命の悲しみを感じざるを得ません。しかし、諸君は第二次大戦における先人の尊い命の犠牲の下で得た平和な、わが国に生まれたことに対して自から感謝の念を捧げ、安心して修学・研究に専念することの出来る幸せを胸に、その道を自からが選択したことへの責任を逃避することなく果たしていただきたいと願っております。

皆さんは高等学校教育の生活を終えて、今日から大学生活がスタートします。

大学は、高等学校から教育を引き継ぎますが、教科書を一律に使って、教員が導くというような高等学校の授業方法は取りません。自分の学習シナリオは自分で作り、これに主体的に取り組むところでもあります。すなわち、大学は、自分に何をしてくれるかではなく、そこで自分は何をするか、何をしたかが卒業時に問われる学舎<sup>がくしゃ</sup>です。それを教職員がサポートし、快適な修学環境と自律性を高めるための環境を大学は提供致します。ゆとり教育に慣れ親しんだ諸君には、最初は厳しい事が予測されますので、昨今の大学における初年次教育に十二分に配慮しておりますが、諸君におかれても不明な点がありましたら、教員に徹底して学び方を指導してもらいなり、読書を通して 自ら補って下さい。「読書百遍義自（読書百編自ずと見（あら）わる）」という諺に学ぶところがあります。

そして 立正大学生として屹立とした自己確立ができることを期待しております。また、今日のこの時が、質の高い修学成果に繋がるスタート点となり、よき友人に恵まれ、有意義な大学生活となりますよう祈念するものであります。

最後に 「不可能事に果敢に挑戦なきものは、可能事の達成も  
覚束ない」というドイツの社会学者であり、経済学者である、マ  
ックス・ウェーバーの言葉を贈りたいと思います、

先刻紹介しました 次の新立正大学の「ブランデングビジョ  
ン」を是非とも共有され、新生活のスタートとして下さい。  
諸君 世界はモラルを備えたエキスパートを無限に求めている。  
だから、お互いに教養と融合する、専門性と豊かな感受性をもつ  
て、希望と自律の道を地の果てまで歩もう。  
以上、新入生歓迎の式辞と致します。